

宮崎県支部

連携による地域経済活性化に関する調査研究

今回は、同業種間または異業種間の「連携」をテーマとして取り上げた。

各章のテーマ設定に当たっては、現在宮崎県で最も事業間連携の緊急性が高く、また、われわれ中小企業診断士が継続支援することにより、課題解決が期待できる分野や内容を選ぶこととした。

検討の結果、以下の8つのテーマが設定された。

第1章 中小小売業における製造業・卸売業との連携では、衰退を続けている中小小売業を向上させるテーマは「独自性と専門性の発揮」であるが、それを実現するために製造業と卸売業との連携が必要であること。

第2章 商業における連携では、人と人、人と組織、企業間など連携が図れることによって流動性が向上することなど多様な主体を結びつけるリワイヤリングの概念に基づいた行動の必要性。

第3章 食を活かした連携では、「飢肥の食べ歩き・まちあるき」と「日南一本釣りカツオ炙り重」のオペレーションにおける日南市地域の連携。

第4章 観光における連携では、地域資源を観光資源として発掘したニューツーリズムと地域産業をどのように組み合わせるかという連携の仕組みづくり。

第5章 農商工における連携では、農業者と工業者および商業者を連携させることを目的とした「農商工連携」の構築。

第6章 環境ビジネスにおける連携では、環境ビジネスのすそ野が大きく広がったことで、中小企業にも参入の可能性が期待できる市場に成長しつつあること。

第7章 新事業創出事業における産学官連携事例についての一考察では、連携の留意点として大学得意分野の見極め、自社のコアコンピタンス、先生との付き合い方、研究成果に関する取り決めの実施。

第8章 医療分野における連携では、これからの人口動態変化や政府施策動向等の外部環境変化を踏まえて、医療・介護・健康サービス産業間連携の必要性。

以上、多岐にわたるテーマについて、それぞれの問題提起がなされ、その問題解決を支援するわれわれ中小企業診断士の役割を示していると思われる。